



mIRaI 通信



～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

暖かなスタートとなりました

年末年始、本当に暖かな、怖いくらい暖かすぎる気候となりました。恒例の年明け同時の氏神様への初詣も、こんなに薄着でお参りした記憶はありません。吐く息も白くなく、本当に「これで大丈夫？」と思わせるような暖かさでした。それが関係するのかどうか、夜空の星々は、いつ以来だろう？と言うくらいの数がまたたいており、一気に少年の頃に戻ったような気分になりました。

さて、そのような年末年始、いかが過ごされましたでしょうか？

暖かな陽気にあやかるように、温かなふれあいのある1年にしたいものですね。



さて、お正月といえばお節料理。お節には、それぞれ込められた思いがあるのはご存知のことと思います。幾つか紹介してみると…



えび＝腰が曲がるくらいまで「長生き」できるように。

昆布＝「よろこんぶ」とかけて

栗きんとん＝「黄金色に輝く財宝」に例えて豊かな一年を願う。

数の子＝二親（にしん）から多くの子が出るように、子宝を願って。

黒豆＝「まめに働く」との語呂合わせ。

れんこん＝（穴が空いているので）先がよく見通せるように。

ごぼう＝細く長く幸せに。

とまあ、このようになりますが、みなさん、何か気づきませんか？

そうなんです、いわゆる世間一般でいうところの「ダジャレ」とか「語呂合わせ」な「洒落心」なんです。初詣に行った際のお賽銭も、「ご縁がありますように」と、五円玉を使う人が多いはず。

つまり、「ダジャレ」は、かくも縁起のいいものであり、古来より幸せを呼ぶものであったといっているのではないのでしょうか（なぜか力説）！！

これに意を強くして、「ようし、世のため人のため、みんなに幸せのため、今年はよりいっそうダジャレを頑張るぞ！」と誓った秋山でした(迷惑千万)。



新たな工事のお知らせです。

生徒用のトイレが完成したのも束の間、また新たな工事に突入します。

現在、職員トイレの工事が始まっていますが、1月10日より、グラウンドの土の入れ替え工事が始まります。大規模な工事となるため、柵を立て、グラウンドには入れなくなります。

ほぼ同時に、校門の門扉改修工事も始まります、そのため、登下校は東側の通用門のみとなります。南棟4階のフューチャールーム工事も行われます。工事車両の出入りが多くなりますので、今まで以上に注意をお願いします。

なお、運動場の門も使用禁止となります。学校開放等で使われる場合、ご注意ください。





年の暮れも超押し迫った昨年12月30日に、32歳になる教え子たちとの同窓会がありました。

時期が時期だっただけに、15名と少人数での会となりましたが、幾ら長く会っていないくとも、そこはそれ、かつての仲間。会った瞬間に表情が緩み、アッという間に話の花も満開です。

近況を聞くと、それぞれの場所でしっかり根っこを下ろして、とても頼もしく嬉しくなりました。最初こそ近況報告で、大人の顔、父の顔、母の顔を見せますが、次第にその表情も中学生の時の顔になっていきます。いい歳になったオッサン・オバサンが中学生の顔に…不思議ですが本当にそう見えるんです。同窓会のいいところですね。本当に楽しい時間を過ごし、しっかり若返ってきました。



そんな中、嬉しかった話をご披露します。

東京の中野区で中学校の教員をしている男の子（立派な教員となっているのですが、私の中では今でも男の子なんです）がいます。同じ仲間として会話していると、彼が「先生、読んでますよ」と。

一瞬何のことかわからず「？」となった私に、「mIRaI通信ですよ、全部読ませてもらってます」と言うではありませんか。HPにアップしていますから、もちろどこからでも見えるのですが、それにしてもよく見つけたもんだ、と尋ねると、「いろいろチェックしてますから」と、わかるような分からないような回答でした(苦笑)。

そしてその彼は、担任して2年目から現在まで(8年間?)毎日手書きの通信を発行しているのだとか。生徒の作文などが中心のようですが、それでも昨年は213号だそうで、感服しました、それを続けているってのがまたすごい。ムチャクチャ嬉しくなりました。

教え子が、自分と同じフィールドで、自分以上に頑張っている…そして、その頑張りに少しは自分も役に立っている?本当に、教師冥利に尽きるとはこのことです。年の最後にステキなプレゼントをもらった気分でした。

それにしても、ネットって、この件でもわかるように、便利でありがたい面がある半面、使いようによっては恐ろしいよなあと、改めて痛感もしました。

ということは、当然この号も彼に読まれるわけで、書くぞ!と宣言はしましたが、何かお尻辺りがこそばゆいですね(笑)。

Nくん、書いたぞー。君の野望が叶えられることを心より祈る。



伊里中学校の生徒諸君、同級生はいつまでも同級生、先生はいつまでも先生です。いつか離れ離れになる日は来ますが、幾ら遠く長く離れようとも、会った瞬間に「あの頃」に戻れる関係をしっかりと築き上げてください。それが何よりの「宝物」となりますよ。

3年生のみんなにとっては、中学校生活もあと3ヶ月弱…。

これから様々な想いで胸中が溢れ返ることでしょう。私の好きな歌からの一節を…。

「終わること」を僕らが意識し始めた時 急に時間は形を変えた

「退屈だ」と叫んでいた「なんでもない毎日」が 今では宝物です。

なんでもない毎日をどうか大切に過ごしてください。

